

# 句会ライブとは

## ●はじめに

夏井いつきが考案した大勢の人でも楽しむことのできる句会の形です。俳句なんて古くさい、難しいから私は絶対作れないと信じている人でも、「取り合わせ」という技を一つ覚えれば、5分で一句作ることができます。自分の俳句がその場で評価され、皆で議論してグランプリを決めるというゲームとしての面白さ、コミュニケーションの場としての句会の楽しさ、表現する喜び等々、様々な体験ができます。導入部分で、講師が「俳句ってこれでいいんだ」という楽しいお話をします。俳句の固定概念を塗り替え、みなさまを俳句の世界に誘います。

## ●俳句の効果

日常生活でも、家庭・社内での人間関係をはじめ、患者さまとの会話等々、様々な現場でコミュニケーション能力が求められます。コミュニケーション能力に必要なのは「ことば力」。ことばは、人と人をつなぐコミュニケーション手段です。ことばを的確に扱うことは、自分の思いを相手に伝えること、他人を正しく理解することにつながります。

ことばをみがくための一つの手段として「俳句」が有効とされています。俳句は、短詩形文学の中でも有季定型（季語を入れる・五七五のリズム）というわかりやすい決まりがあり、それを学ぶことで、ことばのセンスが磨かれ、想像力が高まり、「ことば力」ひいては「コミュニケーション能力」がアップします。また俳句を作ることで脳の活性化がはかられることが研究成果として報告されています。活性化により認知症予防の一助ともなります。

## ●句会ライブ基本の流れと時間配分

（全100分：1部45分＋休憩10分＋2部45分）

（1）1部（作り方から投句まで）

- ①導入：俳句の基礎知識・俳句に対する固定概念を崩す（15分）
- ②俳句の作り方：もっとも簡単な俳句の創作方法「取り合わせの型」を学び、フレーズ作りを練習（15分）
- ③季語について：季語のもつイメージ、気分を学ぶ（10分）
- ④5分で一句：フレーズに季語をあわせる（5分）
- ⑤投句

（2）休憩（参加者はトイレ休憩、講師はこの時間に選句）

\*投句した人からトイレ休憩。休憩時間に講師による選句と2コマ目の準備

\*参加人数の多い句会ライブでは、ここで、別のアトラクションを入れて頂き、選句と後半の準備にあてます。

(3) 2部(俳句と作者の発表、グランプリを決めるまで)

⑥入賞以外のちょっと気になる句の紹介と添削の提案など(10分)

⑦入賞句(5~10句)の発表(作者がわからない状態で俳句だけ掲示)(5分)

⑧入賞句からどれをグランプリに押すか議論(20分)

⑨投票でグランプリの決定・作者の紹介(10分)

⑩終了

\*時間配分は、当日の参加者の人数・状況により多少前後します。

### 【会場の様子】



### 【準備物】

1. ワークシート参加人数分：両面印刷
2. 投句用紙参加人数分：印刷後3分割して使用
3. 長机2台(投句用紙をならべたり教材を置くため、大短冊を清書するための台)
4. ホワイトボード2台
5. 大短冊20枚程度(俳句を清書するための紙。模造紙を縦に4分割したもの)
6. 極太マジック(俳句の清書用、会場でスタッフの方2~3名にお手伝い頂きます)
7. マグネット20個(大短冊をホワイトボードに貼り付けます)
8. ワイヤレスマイク2本(夏井と会場用)
9. 賞品(俳句をご紹介した方に渡します。特になくてもいいのですがご用意できるようなら会場が盛り上がります。)

### 【オプション】

当日のグランプリの俳句をその場で絵にするライブペイント企画もあります。